

平成 2 9 年 度

事 業 計 画 書

一般財団法人 西日本小型自動車競走会

国内景気は、概ね回復基調が続き雇用情勢についても改善が続く中、オートレース業界においては、飯塚場でミッドナイトレースが開催されたほか、場外車券場を全国に25カ所を展開するなどの施策により、売上が回復傾向にあるものの依然として厳しい状況が続いている。また、飯塚及び山陽、両オートレース場においては、耐震工事をはじめ施設の改修が急務とされ検討が行われている。

このような中、本財団は平成29年度についても、5場体制の下、小型自動車競走法に基づき指定された競走実施法人として、事業運営の健全化を図りつつ、小型自動車競走の公正、安全かつ円滑な実施、審判、選手管理、番組編成及び検査等の業務について効果的、効率的に実施するとともに、将来において持続可能な事業運営を行っていくため、業務の抜本的な見直しも行き、競走実施法人としての使命と責任を果たす。

特に、昨年度から本格実施している飯塚場のミッドナイトレースの競技運営を更に円滑に実施するとともに、飯塚場の施設改修に向けた検討委員会において施行者等と積極的に検討協議を重ねるほか、一般財団法人東日本小型自動車競走会と職員の資質及び技術の向上を目的とした職員の相互派遣による業務実務研修を引き続き実施するとともに、業務の抜本的な見直しに伴う組織体制のあり方についても検討する。

その他、施行者や選手会等関係団体と緊密に連携し、既存のお客様の満足度の向上、新たなお客様を増やすため、お客様のご意見、ファンミーティング、各種アンケートの結果等を基に各種方策を実施することにより、小型自動車競走その他モーターサイクルスポーツの普及振興を図ることとする。

さらに、平成29年度は第33期生が7月にデビュー予定であり、小型自動車競走振興法人による配属予定競走場での実地訓練の支援を行う。

1 公益目的支出計画に関する事業（競走関係事業）

小型自動車競走施行者から一括受託した業務を公正かつ安全に実施するとともに、お客様の要請に定めるため競走関係業務の不断の検証・改善を行い、魅力ある小型自動車競走を実施する。

また、小型自動車競走振興法人が示した審判要領、番組要領、検査要領及び管理要領について、顧客満足度の向上及び小型自動車競走事業の持続的発展の観点から、小型自動車競走振興法人、施行者等関係団体と協議し、必要に応じて改善を図る。

（1）小型自動車競走の実施業務

平成29年度においては別表1に掲げる場、日数及び受託業務内容の業務を実施する。

また、別表2に掲げる特別オートレース等を実施する。

（2）審判に関する業務

常に冷静沈着にして節度ある態度を保持し、確固たる信念に基づき厳正に小型自動車競走実施規則を適用し、正確かつ迅速に審判業務を遂行するとともに、小型自動車競走を公正安全かつ円滑に実施する。

また、運営協議会、成長戦略会議で提案された事項について実施に向けた研究検討を進める。

さらに、適正な審判実務を行うためマニュアルに基づき、審判訓練をより充実させるほか、小型自動車競走振興法人が開催する判定研修会及び担当者会議に職員を派遣し、専門知識及び技能

の習得向上を図る。

その他、判定の統一を図るため、一般財団法人東日本小型自動車競走会が委託を受けて実施する SG レースに審判長を派遣する。

(3) 番組編成に関する業務

常に公正無私の態度をもって、選手、競走車の能力及び小型自動車競走の特性を的確に把握し、公正安全な競走の実施を主眼とすることはもとより、お客様に喜ばれ車券購買意欲を高められるような、魅力ある番組編成を行う。中でも、選手のハンデの透明性をより高めるため、一層の改善を図る。

(4) 検査に関する業務

競走の公正安全及び事故防止を図るため、競走車に係る各種確認・検査を厳正に実施する。

また、ミッドナイト開催に使用する消音マフラーの選手への配布及び回収を適正に管理する。

(5) 選手管理に関する業務

競走の公正安全及び事故防止のため、選手の出場資格の確認、健康状態その他出場適正の検査を行うとともに、選手の保護安全を図り、選手を最善の状態での競走に出場させる。

特に、選手宿舎における選手の宿泊及び食事の提供についても、保健衛生に留意するとともに、火災予防、選手の安全管理及び健康管理の強化を図る。

また、落車事故発生時における迅速な選手救護及び残留競走車撤去のため、開催従事員訓練を定例的に実施する。

2 東西競走会の実務研修に関する事業

業務実務研修

東日本小型自動車競走会と相互に職員を派遣し、職員の資質及び技術の向上を目的として、実務研修を実施する。

(1) 職員の総合的な実務研修（審判、管理、番組、検査の各業務）

3 その他の事業

(1) 選手会に対する支援

一般社団法人全日本オートレース選手会が実施する訓練等に対し支援する。

(2) 選手共済会に対する支援

一般財団法人全国小型自動車競走選手共済会の円滑な事業運営のための各種事務を担当する。

(3) 小型自動車競走振興法人との連携、支援

小型自動車振興法人と連携して、活性化策を積極的に講ずるほか、第33期生の配置予定競走場での実地訓練の支援を行う。

(4) モーターサイクルスポーツ等に関する事業

モーターサイクルスポーツの競技者及び愛好家等が実施する事業を支援するとともに、モーターサイクルスポーツ関係団体と協力連携し、モーターサイクルスポーツの普及振興を図る。

(5) 諸会議

関連法規及び定款の規定に基づき理事会、評議員会の円滑な運営を行うほか、本財団の円滑な運営、競走業務の適正な実施並びに職員の意識の共有、資質の向上のため、幹部会議、イベント企画会議等の会議を開催する。

(6) 人事、労務管理及び福利厚生

職員及び開催従事員の健康管理に十分な配慮を行い、良好な職場環境の維持に努めるほか、職員の適性、職場の状況等を勘案して的確な人事配置を行い、本競走会業務を適正に実施する。

(7) 施行者等との協力体制の強化

円滑な小型自動車競走の事業運営のため施行者及び小型自動車競走事業包括的民間委託業者との協力体制を強化する。

(8) 公益目的支出計画に関する業務

公益目的支出計画の実施に伴い、関連法規に定める提出書類の作成等の関連事務を着実に実施する。

(9) 持続可能な事業運営等の検討

小型自動車競走実施法人として、将来において持続可能な事業運営を行っていくため、業務の抜本的な見直しも行うとともに、業務の抜本的な見直しに伴う組織体制のあり方についても検討する。

別表1 (施行者からの受託業務)

競走場	施行者名	開催予定回数	受託業務内容
			競技等関係
飯塚	飯塚市	88日(11回)	一括受託
			通常開催
飯塚	飯塚市	27日(9回)	一括受託
			ミッドナイト開催
山陽	山陽小野田市	48日(6回)	一括受託
			通常開催

別表2 (特別オートレース等の実施)

特別オートレース等の名称	開催競走場	開催日
SG 第31回 全日本選抜オートレース	飯塚	平成30年1月6日～1月10日
共同通信社杯プレミアムカップオートレース	飯塚	平成29年9月16日～20日
共同通信社杯プレミアムカップオートレース	山陽	平成30年3月21日～25日